

スタッフ便り

最近はコロナ禍ということもあり、週末に家族で観光地に遠出することもなく、5歳になる子供をどの公園に連れて行くかで頭を悩ませることが多いです。子供のお気に入りには、線路が見える公園です。その公園からは仙台駅が近いため、電車が通過する頻度が高く、さらに電車の線路の上に新幹線の線路も通っているため、電車と新幹線を両方見ることができます。公園の中に、「いもむし」の形をした乗り物の遊具があるので、我が家では「いもむし公園」と呼んでいます。「いもむし公園」のほかにも、公園にある遊具の特徴で呼んでいる公園がいくつかあります。「ムーミン公園」「ハンドルぐるぐる滑り台公園」「短い長い滑り台公園」などです。小さいお子さんのいらっしゃるご家庭では、もしかしたら、どの公園のことをいっているかわかる方もいるかもしれません。なぜ、男の子はあんなに電車や新幹線に夢中になれるのでしょうか。電車が通過するたびに、飽きることなく楽しそうにしている子供の姿をみると、自分自身には今現在、夢中になれる何かはあるのだろうかと考えさせられます。ここ数年、子育ての大変さを痛感し、自分の時間がほとんどない状況でしたが、子供が成長するに連れて自分の時間も少しずつとれるようになってきたので何か夢中になれるものを見つけたいと思っています。(Y.S)

この度、初めての青葉山勤務となりましたが、開放されている窓から時折聞こえる驚くほど綺麗な鳥の鳴き声に感動したり、本館の自動ドア付近で大き目のヘビに遭遇して驚いたり…。自然豊かな青葉山を感じる一方で、新キャンパスの整然と並ぶ現代的な建物を眺めながら、Buddy's Table というオシャレな音楽の流れるレストランでランチを楽しむなんていうこともできる素敵な環境を満喫しています。

話は変わりますが、ここへ来る前、片平の本部で社会連携業務に携わっていました。その一つの事業として、大学の歴史的建造物を国の登録有形文化財に登録するという仕事がありました。2017年に5件、この7月に8件が新たに答申されました。(正式に登録され、計13件の登録有形文化財となれば国立大学では最多です。)歴史的財産を大学だけの資産にせず、市民共有の文化的資産として後世に引き継いでいくことを目的としています。片平キャンパスでは青葉山とはまた一味違う景色を味わうことができます。コロナ禍の今、人混みに出かけるのは憚られますが、学都仙台の象徴として歩んできた歴史あるキャンパスを散策するなんていう過ごし方はいかがでしょうか。(Y.K)

東北大学登録有形文化財 GUIDE SITE

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/bunkazai/kenzobutsu/index.html>

東北大学キャンパスガイド

<http://campus.bureau.tohoku.ac.jp/index.php>



SENAC 編集部会

滝沢寛之 水木敬明 後藤英昭 伊藤昭彦
早坂和勝 大泉健治 小野 敏 斉藤くみ子

令和3年7月発行
編集・発行 東北大学
サイバーサイエンスセンター
仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
郵便番号 980-8578
PDF 作成 株式会社 東誠社